

令和8年度病害虫発生予察注意報第2号

令和8年4月30日
愛知 県

作物名：ナシ
病害虫名：黒星病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 やや多い

3 注意報発表の根拠

本病の葉での発生状況

4月下旬の巡回調査(27ほ場)において、発病葉率は0.44%(平年0.14%、前年0%)であり、過去10年間と比較して2番目に高い。発生ほ場率は11.1%(平年5.2%、前年0%)であり、過去10年間と比較して最も高い。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 発病した葉や果実(図1及び2)は伝染源になるので、見つけ次第取り除き、ほ場外へ持ち出して適切に処分する。
- (2) 表を参考に薬剤散布する。本病は雨天が続くと蔓延するので、雨が予想される場合は予防的に薬剤散布する。なお薬剤耐性菌の発生を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避ける。
- (3) スピードスプレーヤーで防除する場合は、ほ場のすみなどの薬剤がかかりにくい場所は手で散布するなどして、かけ残しがないよう注意する。



図1 葉(葉柄)における発病



図2 果実における発病

5 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-41-9513

表 ナシ黒星病に対する主な防除薬剤

薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	FRACコード
チオノックフロアブル	収穫30日前まで	5回以内	M3
ベルコートフロアブル	収穫14日前まで	5回以内	M7
ベランティーフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	3
スコア顆粒水和剤	収穫14日前まで	3回以内	3
カナメフロアブル	収穫前日まで	3回以内	7
ネクスターフロアブル	収穫前日まで	3回以内	7
ミギワ20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	52

成分ごとの総使用回数に注意する。

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は以下を参照する。

https://www.croplifejapan.org/assets/file/labo/mechanism/FRAC_code_20250603.pdf

薬剤の使用に当たってはラベルの表示事項を守るとともに他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。